昭和43年3月1日第3種郵便物認可

納税は市政とくらしを結ぶ糧

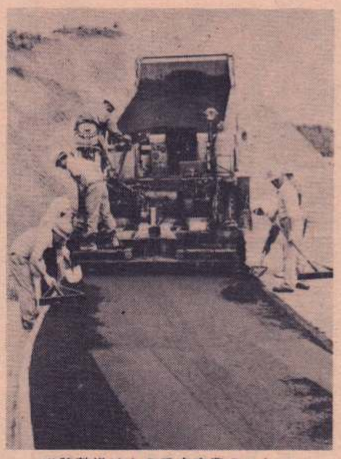
住みよい近代都市めざし

着々とすすむ 市道の整備

今年度で舗装率は四七%に

市道の整備が今年も着々と進められています。道路の整備は、市民の皆さんの日常生活の利便と安全、さらには、産業の発展にもつながることから、市の重点事業のひとつとして積極的に取り組んできました。市道の舗装率は、五十四年度で四三・六%に達し、ここ数年間の舗装率は他市には見られない飛躍的な伸び率となっています。今後も、住みよい美しい近代都市をめざし、同事業を強く押しすすめていく計画です。

本市の市道は全部で八百五十四路線、総延長五百十一㌔となっていますが、五十四年度までに約四百三十路線、二百二十三㌔が立派な舗装道路に生まれ変っています。



道路整備は市の重点事業のひとつ

また、今年度は市道の拡幅改良や舗装の工事費として、六億五百三十万一千円を計上し、二十八路線の拡幅改良、そして、四十四路線、延長一万七千二百㍍の舗装工事を進めてきましたが、そのほとんどは完成、残りの工事も近日中に完成されることになっています。

今年度分工事がすべて完了しますと、舗装率は四七%に達し市道の約半分が舗装されることになります。

道路の整備は、市が毎年実施している「市民と語る会」でも最も多い要望事項であり、市では、市民生活上必要な生活道や通勤・通学路を優先的に、これらの要望に応えるべく、同事業を計画的にすすめていくことにしています。

ナンバー・ワン登場

第六回 産業教育弁論大会 優秀賞 児玉早苗さん（18）

「成績発表のとき、優秀賞大館東高校と呼ばれただけで無意識に『はい』と言って立ってしまいました。立ってしまってからほんとうに私が選ばれたのかなと半信半疑でした」と児玉早苗さんは、そのときの興奮を話してくれました。

十一月八日秋田市で行われた第六回産業教育弁論大会で、大館東高校三年児玉早苗さん（花岡）が優秀賞を受賞しました。この弁論大会は、県教育委員会が主催したもので、職業高校としての誇りをもたせ、将来産業人としての心構えを養わせることを目的に行われたものです。

早苗さんは〝私が選んだ職業は〟と題して和裁にかける夢を発表しました。

いままで大ぜいの人前で話したことのない早苗さんが、大会に出場することになったのは、同校の高橋愛先生の勧めによるものでした。その高橋先生は「目的をもたない人が多いなかで、早苗さんは無口ですけど根性があり、しっかりした目的をもって和裁をやっているので本人のためにということで出場を勧めました」と話していました。

〝夢〟―お母さんに着物を縫ってあげること―が早く実現するようにガンバッテね。

90台の機動力で 雪への対策は万全

十二月に入り雪との戦いの季節になります。

市では、市民生活に支障のないように、国、県と緊密な連絡をとり、道路の除排雪に全力をあげることにしています。

市の除雪計画として、市のグレーダーなど七台のほか、市内業者に委託して、約九十台の機動力で万全を期すことにしています。

除雪対策には、何よりも市民の皆さんの協力が必要です。次の事項へのご協力をぜひお願いします。

▽除排雪作業のための道路の一時しゃ断にご協力を。

▽作業上、沿線の耕地や冬期の閑地へ排雪せざるを得ない場合の土地所有者のご協力を。

▽宅地等から道路へ雪を絶対出さないようにしてください。道路にワダチが生じ、安全な交通に支障をきたします。

▽自動車、リヤカー等を路上駐車させますと、除雪作業ができませんので、昼夜を問わず絶対にやめてください。

出番を待つ除雪車

広報休刊のお知らせ

12月16日付〝広報おおだて〟は、〝正月特集号〟編集のため休刊させていただきます。

国勢調査予想人口 入賞者決まる

市では、今年の国勢調査における市の予想人口を募集しましたが、このほど同調査の結果がまとまったことにより、その入賞者が決定しました。

調査によると市の人口は七万二千四百八十人で、応募者百九十一人の中から次の方々が入賞しました。

＜一等＞ 工藤陽子さん―たつみ町（予想人口七二、五〇〇）

成田夕子さん―花岡（同）

＜三等＞ 小畑千代吉さん―二井田（七二、五〇一）片岡三郎さん―北神明町（七二、四五一）

冷害対策情報

市県民税減免の説明会

市では、このたびの冷害により農作物に大きな被害を受けた農家の方々に対し、市の条例にもとづいて市県民税の減免をします。そこで、この説明会をつぎの日程で行います。

◆市県民税の減免の対象になるのは、冷害によって農作物に被害を受け、次の基準のすべてに該当する方です。

・五十五年中のすべての農作物による収入合計額（共済補償金を加えた額）が、平年作に対して十分の三以上減収の方

・五十四年中のすべての所得金額が四百万円以下の方

・五十四年中の農業所得以外の所得が百六十万円以下の方

◆説明会の日程

12月9日（火）

午前10時　矢立公民館

〃　釈迦内公民館

午後2時　花矢支所

〃　下川沿公民館

12月10日（水）

午前10時　上川沿公民館

〃　真中公民館

午後2時　二井田公民館

〃　十二所公民館

12月11日（木）

午前10時　長木公民館

〃　中央公民館

※詳細は税務課民税保険税係へ

牧農土木事業を実施

市では、冷害対策事業の一環として小規模な土地改良事業を行います。

この事業の実施を希望する地区の方は、市役所農林課土地改良係へ申請してください。

◆実施基準――一団地の受益面積が十ヘクタール以上で、事業費が十万円以上であるもの

◆事業の種類――土地改良区等が維持管理している農業用排水路及び農道の補修で人力を主体とするもの。

◆締め切り――昭和55年12月10日

市長の対話ノート No. 24

広めよう深めよう福祉の輪を

心身障害児をもつ親たちの会「ひまわり親の会」（会長、古沢三樹夫氏）の会合に参加させていただき切実な訴えを聞かせていただきました。

常に子供から離れられない生活、そして幼児保育、学校教育、機能訓練など当事者でなければ知り得ない苦労をなさっているばかりか、障害者をかかえているというハンデも背負っているということでした。

人間として生まれ、育ち、何で社会的なハンデがあってよいでしょうか。そんな心が、広く深く市民に理解していただくと共に、その心が具体的にハンデをなくする社会環境づくりに、必要な施設、施策にならなければならないと存じます。「人間優先の社会、まちづくり」今こそこの遅れをとりかえす時代ではないでしょうか。幸いにも来年は「国際障害年」にも当っております。市民と共に「不幸をなくし」「不幸を招かない」社会とくらしをつくるにはどうすればよいかを真剣に考え合い、行動する年にしたいものです。

畠山健治郎

毎日に明日はあるし、毎年に来年がある。「明日こそ」「来年こそ」を繰返して来ました。その「こそ」も暦一枚になってしまいました。どんな年であったのか厳しく反省し合いたいものです。

小売業界の激しい動き

新聞によると流通業界の動きが活発化し、二、三の地域外資本によるスーパー進出作戦が報じられています。大手スーパーのチェーン化による市場支配、独占欲はついに当市にまで上陸しつつあります。購買力の流出を防ぎ吸引力を増し、物価を下げることになるなら結構なことだという意見もありますが、私はその意見には賛成しかねます。なぜならば「ついに大館にも」という言葉通り大手資本の流通支配下に組みこまれることだからです。

消費者は物価高に苦しんでいますから大手スーパーを歓迎しているといいますが、大手資本のネライはそんなことではありません。従って物価は下るどころか一層の高い価格の押しつけを許すことになるだけです。

地元購買力の結集と吸引力を高めるためには、業界も行政もいっしょになって地域資本で開発、発展計画に向って都市開発を進めることではないでしょうか。

生きるための努力を怠り、安易な道を求めるからこそ大手資本の配下になることだと存じます。遅くはありません。私益と公益の共通点を求めてやろうではありませんか。